

「お手紙」 子どもたちと読み合って

■子どもたちのこと

・教室からあふれそうな三十八人の二年生です。休み時間の遊びと、毎日終わりの会で歌って帰るのが何より楽しみ、という子どもがたぐさいます。

国語の時間に限らず、初見の文章を読むことがとっても難しい子どもが多いのですが、すきなお話や詩は何度も読んでいるといつの間にか覚えてしまい、何かの折に楽しそうに「ぶつぶつ」やっっている場面がよく見られます。嬉しいことです。

大勢の友だちのいろいろな「読み」を知りながら、物語や詩を好きになったらなあと思いい、いろいろなお話に親しんできました。

■教室で物語を読むとき大切にしたいこと

- ・音読の時間をたぐさん。毎時間、全文を通読する。
- ・ゆっくり視写する時間を作る。
- ・お話について語り合うことで読みを深められたら。
- ・同じ作者の作品を紹介する。

■作品について

・あたたかさと、くすりと笑いたくなるユーモアに満ちたお話です。ゆったりと読みながら、みんなでいい気持ちになりたいと思いました。

■指導計画（全十時間）

- ① 第一次（話のあらましをつかみ、感想を持つ）
作品を読み聞かせて、初めの感想を語る。
新出漢字と会話の人物を確認する。
- ② 席順で（各自一文か二文ずつ）全文通読。
場面わけ（五つ）をする。音読するところを十一に分けて席順読みのところを確認する。
- ③ 席順で（十一人）全文通読。五場面の中から、大事な言葉を選び、あらすじを確認する。好きな場面を選び、簡単な理由を書く。

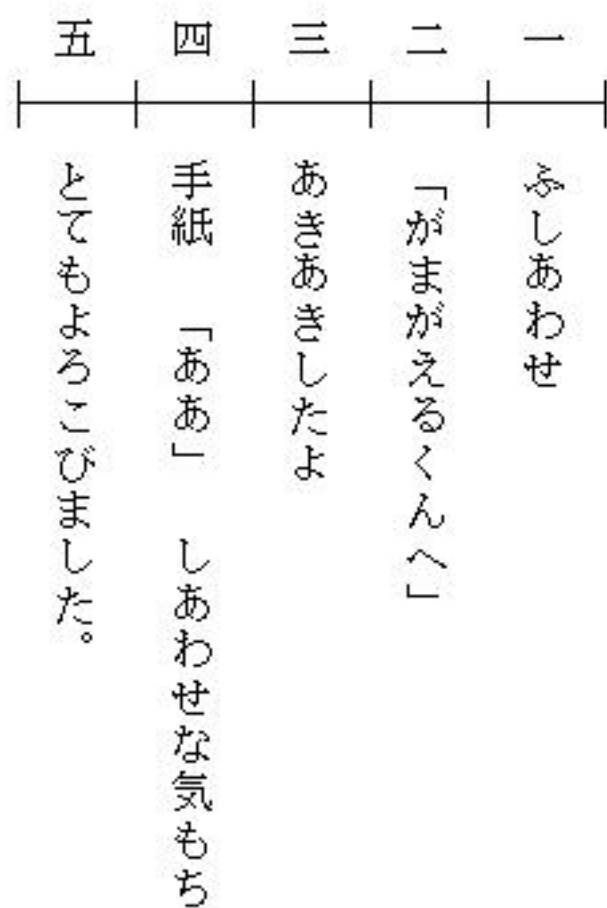
第二次（場面を読む）

- ④ 全文通読。前時に書いた全員の「すきなところと理由」のプリントを読み合う。
- ⑤ 全文通読。一、二の場面で、かえるくんのやさしさについて話し合う。まとめの視写。
- ⑥ 全文通読。三の場面がまくんの悲しさについて話し合う。まとめの視写。

⑦全文通読。四、五の場面で、がまくんのうれしさについて話し合う。まとめの視写。学習したことについて感想を書く。

第三次（いろいろな作品に出会う・覚える）
⑧⑨⑩ローベルの作品の紹介をして読み聞かせをする。グループで暗誦して発表する。

■概観・場面分けの言葉
子どもたちの中から、「気持ちの言葉がいっぱいある」という発言が出たので、それを中心に。



■授業中の発言や視写したところ

◎一の場面

★かえるくんはやさしい
・かなしそうな人に声をかける
・きずついた親友もおちつく

ふたりとも、かなしい気分で、げんかんの前にこしをおろしていました。

すると、かえるくんが言いました。

「ぼく、もう家へ帰らなくちゃ、がまくん。しなくちゃいけないことが、あるんだ。」

◎二の場面

- ・ そうだ、ぼくが手紙を出したらいいんだ
- ・ あ、お手紙を書こう
- ・ ふあんだけど、よろこんでくれるかな
- ・ 親友だから
- ・ 早く気づけばよかった

「がまがえるくんへ」
かえるくんは、家からとび出しました。知り合いのかたつむりくんに会いました。

◎三の場面

- ・がまくん↓お手紙がこない
- ・かえるくん↓がまくんのお話を聞いて
かわいそう

★がまくんはかなしい

- ・おちこんでいる
- ・あきらめ
- ・ドキドキ
- ・どうせ来ない
- ・来ないとしんじている
- ・すねている
- ・むかついておこっている
- ・かえるくんはやさしい

★窓から見ているカエルくん(書き込みから)

- ・かたつむりくん、だらだらしないで早くとどけて、がまくんをよろこばせてよ。(自分で出せばよかった。)
- ・ぼくもむちゃくちゃくろうしてるんだ。早く来てよ。
- ・がまくん、なんでしんじてくれへんの。
- ・そんなに、いやだよとかばっかり言ったら、ぼくもかなしくなるよ。

- ・来んで、来んで、もうちよっとしたら来んで。

- ・がまくん、だいじょうぶだよ。いつかきみにお手紙くるよ。だって友だちがいなくてもぼくがいるよ。

◎四の場面

★がまくんのうれしさ

- ・びっくり
- ・やっともらえる
- ・ワクワクドキドキ
- ・心の中でやった!
- ・はじめてこんないいことがあった
- ・めっちゃくちゃうれしい
- ・ふしあわせがとんでった
- ・とうとう一まいもらったんや
- ・友だちなんだ!

「ぼくは、こう書いたんだ。『親愛なるがまがえるくん。ぼくは、きみがぼくの親友であることを、うれしく思っています。きみの親友、かえる。』」
「ああ。」

◎五の場面（授業記録・十二月二日）

*席順による全文通読

T それでは、今日は、昨日時間が来て聞けなかつたところへいこうと思います。(2枚のさし絵を黒板にはる。)

こっちは、前の方、これは後ろの方、おんなじに見える？

C たち ちがうー！

C 風景は同じやけど顔が違う。

C こっちは喜んでこっちは・・・

C 目がしょんぼりしてる。

C 何か考えてる。

C 後の方はにっこり。

C とってもしあわせ

T そう、君ら幸せの話をしてくれたでしょ。がまくんとかえるくんの幸せ、同じやって言う人もいたし、違うって言う人もいたでしょ。

C お手紙もらって、がまくんが幸せ。お手紙もらったがまくんを見て、かえるくんも幸せ。

C かえるくんが友だちでよかったナアっていうしあわせ。

T じゃあ、今日は最後です。五の場面読んでみます。

*教師の読み

T あのね、はじめに書いてもらった感想でね、古賀くんが五は四より、もっと幸せやから好きって書いてたでしょ。それから、小熊くんはお手紙を、かたつむりくんがくれるから好きって書いたよね。さあ、五はね、たくさん好きな人がいるから、自分の特に好きのところを読んで、お話ししてみてください。

C ④を読む。(以下、読んでから感想を語る。) がまくんが今までお手紙もらったことないから、親友からもらって、今までにないうれしさと思う。

C ④かえるくんから初めてお手紙をもらってうれしかったと思う。

C ①②あんまり、来うへんから、かえるくんがうそついたんかなって思ってる。

T それで？

C それで、幸せ。

T あ、それで幸せやったんね。なるほど。

C ③④かえるくんが親友だから、がまくんは、初めてお手紙もらってとーっても喜んでんやと思った。

T とーってもね。

C ④がまくん、よかったなと思った。

C ①②かたつむりを待って遅いから、前のかえるくんがかたつむりに渡したのは、かたつむりくんが着くまでに、いっしょに二人きりで幸せな気分でそこに座ってられるからそこで座ってて、今、かたつむりくんが来たら、また幸せが増えるから、だからそれが一番いいと思ってかたつむりくんに渡したのかなと思った。

T あ、かたつむりくんに渡したのは、そういうわけがあったと思ってるね。なるほど。そのへんのお話、ありますか？

C ①②かえるくんが、がまくんにはれないようにかたつむりくんに渡したけど、ばれちゃったけど、がまくんはそれでうれしかったから、幸せな気分で座ってられたと思う。かえるくんが言わなかったら、まだ、お手紙来るの待ってなかったと思う。

C ①②かたつむりくんは足が遅いからこんなに長いことかかってんなと思う。

C ①②二人とも玄関の前に座ってたから、

C 多分な、四日も経ってるから、かえるくんはがまくんに「きつと来るよ。」とか声かけながら待ったと思う。とーっても幸せな気持ちだったと思う。

C ①④ここはがまくんが初めに不幸せな気持ちで待って、それでかえるくんがお手紙出して、四日経ってやっと着いたから、四日も待った甲斐があったなと思った。

C ①②かえるくんはかたつむりくん、足が遅いのは分かってたけど、四日も経たないと思って渡したけどな、お手紙来ないからそれだけ待ってるの疲れたけど、まあ、来てよかったと思ってる。

C ①②ぼくは、二の場面で、「ぼくもう、・・」って言ったのは、その時にかえるくんはがまくんに三回幸せをあげようと思ったのかなと思った。一回目はお手紙のことばらして幸せになって、次にお手紙を待つ時に二人で励まし合いながら待ってて、最後にかたつむりくんからお手紙もらって、がまくんは三回うれしかったん。

T へー！すごいこと考えてたね。そこまで私は考えたことなかったなあ。

C ①②かたつむりががまくんの家に着いてよかったなあと思った。

C ①②かえるくんとがまくんは、いつ来るかまってたけど、がまくんが喜んでかえるくんは安心した。

C ①②かたつむりくんさ、足さ、手の動きくらいやん。だからなあ、やっと来たなあってよろこんだ。

C ④四日経ってとどいてよかったなあと思った。

C ①②最初にぼくは、「すぐやるぜ。」って言ったから、かえるくんもすぐ来るかと思ってたけど、来えへんからおかしいなあと思って、がまくんももう来えへんかと思ったかも知れない。

C ①②さっき、康大が励まし合いながら待ってたって言ったけど、ぼくはな、励まさんでも、がまくんはな、もう教えてもらったし、もう来るて分かったから、それで充分でな、お手紙もらうんやったらそれくらいの苦労しなくちゃ、って思ってたと思う。

T がまくんも？もうわがまま言わんと？面白いこと考えたねえ。

C (さし絵を指して) こっちの絵は手、こうなってるし、こっちの絵は肩組み合ってる。

T よく見てるね。絵の話が出てきましたが、そっちへ行っていていい？二つのさし絵は、どっちも待ってるんやけど、待ち方が違うっていうお話が出ましたが、まだありますか？

C 6ページの絵は二人が考えてるけど、こっちはいい気持ちで待ってるからいいと思う。

C 前の方はな、不幸せで寂しそうな顔してるけど、後の方は大分幸せ。

C 二の場面の時はな、顔も手も寂しそうでな、つまらん時はぼくもやっせしもうねんけどな、手、こうやって、最後の方は口も開いてるし、ニマーって笑って肩組んでるし、何か、かたつむりくんことを二人で「遅いなあ」とか「あいつ何やってんねんやろ」と言いながら待ってると思う。

T なるほどね。まだあるの？ではすみませんが後、3人で終わらせて下さい。

C 前の方はな、いくらかえるくんが天才でも、まずはすぐ思いつかないし、はじめ

は考えられへんかってん。後は、成功したからいい気持ちで座ってると思う。

C 後の絵はな、何か永遠に待ってるでって
いう気分やねん。

C 最後のほうはな、かえるくんはがまくんが喜んでくれて、それはそれでよかったなと思ってる。それにな、がまくん、かえるくん一枚もらったらまた欲しくなるかも知れない。

T はい、最後の一人にさせてね。どうぞ。

C 気持ちが違う。だって、手紙が来るので
いっぱい待ってたけど、かえるくんが言
ってくれたからほんとかなああって思いな
がら座ってて、四日でもいいから来て欲
しかったんと思う。

T いっぱいお話ししてくれたので、最後、
読んで終わりにしようと思います。

*読みたい人を指名して全文通読。

拳手が多すぎるので、はじめに読まなかった
子どもや、発言の少なかった子どもを指名。
もっと読ませるコール。小さな声で連れ読み
はOKにしたら納得。

T しっかり読めました。今日は「お手紙」
の勉強が最後なので、勉強したこと

想を書いてもらっておしまいになります。

*感想を書く。

■まとめの感想の中から

・かえるくんが、がまがえるくん
に手紙を出したところが、とてもしあわせな
気持ちでわかったのが、しあわせな
気持ちと思えました。きつと、
気持ちがつたわったのかなあと思
います。

それと、親友かなあと思いました。
その後、とてもよろこんでもらって
よかったなあと思えます。お手紙
っていいなあ。だって、いろんな
ことを書けるから。いいお手紙
でした。

(あんな)

・さいしよは、がまくんが
お手紙をもらえなくてかな
しかったけど、とちゅうから
がまくんが、なんかうれしい
気分なんだんだんだん
なってきたけれど、とちゅう
で、がまくんが、もう一生
お手紙もらえないと思って、
オレの気もちも、だんだん
だんだんいやな気もちにな
ってきて、けど、さいごの
シーンで、なにか、だんだ
んだんいい気もちになって、
ぼくの気もちほっとしま
した。(ゆうや)

・わたしはお手紙を読んで、がまくんがかなしそうだったのを、かえるくんが、あんなにやさしくなくさめているのが、わたしはかえるくんは、とてもやさしいんだなあと思いました。

わたしもあんなにやさしくなれたらいいなあと思いました。がまくんもお手紙もらってよろこんでいたので、わたしもまたお手紙書きたいです。
(千夏)

・がまくんへ。がまくんはお手紙もらってどうしましたか？おうちでとびはねましたか？それとも友だちに自まんしましたか？お手紙をもらってどうでしたか？

「お手紙」、かえるくんからのお手紙もらったところが、ぼくはおぼえたいです。お手紙もらえてよかったですね。また、新しいお話を考えて下さい。
(いっせい)

・いつもこの本を読んで、自分で読むとき、わたしはしゃべいばかりです。ラジオで聞くとき、声が男みたいな声でわらわれるときもあるけど、楽しいからまあいいけど、友だちの声を聞いていたら、みんなわらいまくります。で、わたしも自分の声を聞いてわらわってしまうのです。
(まいき)

・がまくん。お手紙をもらってよかったね。しかも、そのお手紙を出したのがかえるくんによかったね。
(こうた)

■最後に

読みたくて、話したくてしようがない、という子どもたちの顔を見て、雑な仕事をした私としては、授業、きちんとしないとけいななあと改めて思い、大反省しました。物語の授業をしていると、子どもが柔らかい表情をし、また教室がやさしい空気に包まれます。いいお話をたくさん読み合うことは、結果的にクラス作りに力を貸してくれるのかなと感じています。(1210記)

2005/12/17 学習会資料

箕面市立東小学校 秦 由子

みんなのあく手 No③

十一月二十八日・東小二年一組

☆「お手紙」 みんなの一番すきな場めん

⑤ よろこぶことはいいことやから、すきです。
(き)

⑤ がまくんが手紙をもらってとてもよろこんだから、よかったなあと思いました。
(う)

⑤ かえるくんからもらった手紙、うれしそ
うだな。がまくんも大切にしていると
思います。
(わ)

⑤ かえるくんがお手紙をもらってとても
よろこんでよかったから。
(し)

② がまくんがふしあわせになっていたけ

ど、かえるくんがお手紙出したのがやさし
かったから。
(お)

④ 手紙を見たらおもしろいからです。それ
と、しあわせをかんじたら楽しそうだから。
(小)

⑤ がまくんがかえるくんからお手紙をもら
って、とてもよろこんでいたのが気に入
りました。
(中)

⑤ がまくんがよろこんでたから。
(井)

⑤ ④よりもっとよろこんで、もっとしあ
わせだから⑤がすきです。
(こ)

⑤ かえるくんの気もちがったわってくるか
らです。
(竹)

⑤ かえるくんが手紙をもらってよろこんで
るから、このかえるくんがやさしいから
すきです。
(く)

⑤手紙とかプレゼントとかもらってうれし
いから

(川)

⑤かえるくんみたいに、もらえなくてもら
えたら、ゆうまもとてもよろこぶから。

(林)

②かえるくんが手紙にがまくんがわたし
で、かえるくんの手紙あげてのところがお
もしろかった。

(元)

④がまくんがとてもうれしそうで、かえる
くんががんばっているからすきです。

(生)

④がまくんは手紙に書いたことを聞いて、
ああ、と言ってしあわせな気もちになって、
うれしそうでした。

(木)

⑤お手紙をもらってとてもよろこんでうれ
しそうだったです。

(じ)

④ああ、もしあわせな気もちももしろい

から

(吉)

⑤とてもよろこびました、はいい気もちだ
からです。

(上中)

⑤とってもよかったなと思うから。

(黒)

④がまがえるくんがしあわせな気分になっ
たからよかった。

(す)

④「ああ」っていうところが、うっとりし
てそうだから。あと、しあわせな気もちは
いいかなあと、思ってたから。

(野)

⑤かたつむりくんがお手紙をとどけて、よ
ろこんだから。

(今)

⑤そこがもしろいから

(ざさ)

④手紙をもらってうれしかったと思いま

す。いいお手紙だなあ。

(おみ)

④だって、かえるくんが、まだ手紙きてないけど、自分が書いた手紙を読んで、がまくんがうれしく思いました。

(か)

⑤がまくんがはじめて手紙をもらったところが、うれしそうだったから。

(さわ)

⑤お手紙をかたつむりがくれるからすき。

(ぐま)

④かえるくんが書いた手紙をかえるくんが読んで、がまくんがうれしそうだったから。さいごは手紙をもらってとてもよろこびました。

(明)

⑤よろこんでたから。

(さか)

⑤とてもよろこんでよかった。

(園)

⑤がまくんがうれしそうだったから。

(細)

⑤とてもよろこんでいたから、いいなと思っただよ。

(〇)

⑤すきな理由は、とてもよろこびましたっていうことは、何かいやな気もちをなくしてすごいよろこぶ気もちやからすきや。

(まつ)

⑤いってることがうれしそうでした。

(石)

⑤がまくんとかえるくんがうれしそうにお手紙をまってるのは、あきあきしてこないしうれしいときだからいいと思った。

(Y)

①「ぼく、もう家へ帰らなくっちゃ、がまくん。しなくちゃいけないことがあるんだ。」がすきです。だって、がまがえるくんのお話を聞いて、かえるくんはかわいそうだなあと思っていたと思います。きつとかえるくんはやさしいから。

(え)